

# 一宮市議会 12月定例会の日程

12月2日(月)～12月23日(月) 22日間

- ▲開会 12月2日(月) 開会、議案上程・説明、請願締切
- ▲一般質問 12月6日(金)、9日(月)、10日(火)
- ▲常任委員会
  - 総務 12日(木)、経済教育 13日(金)、福祉健康 16日(月)
  - 建設水道 17日(火)
  - 名岐道路・スマートインターチェンジ推進特別委員会 18日(水)
- ▲閉会 23日(月) 委員長報告、討論、採決、決算上程・説明・質疑、閉会



## ■ 予算規模 (単位：千円)

	補正額	補正後
一般会計	3,872,597	142,268,275
特別会計	97,185	77,036,598
企業会計	▲68,624	56,803,827
計	3,901,158	276,108,700



- \*特別会計 国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険  
公共駐車場 各事業
- \*企業会計 病院・水道・下水道 各事業

## ■ 12月議会に提案されている主な事業・予算 (市の資料より一部紹介)

【国】【県】：国や県の補助金等

(臨)：臨時的な事業 (新)：新規事業 ◎：投資的な事業

○(臨)子育て支援センターの移転 119.2万円

里小牧子育て支援センター機能を救援中の浅井中保育園舎に移転し、2025年4月に浅井子育て支援センターとして開設する。



○◎新保健所の開所に向けた検査機器の購入

2024・2025年度債務負担行為限度額 1億8,552万8千円

新保健所の開所に向けて感染症や食中毒検査などに用いる機器を購入する。

○(臨)新型コロナワクチン接種による健康被害に対する給付費【国】

4,740万4千円

新型コロナワクチン接種により健康被害が認定された死亡1件を含む5件の事案に対する給付費

○(新)「STATION Ai」への参画を通じたスタートアップ事業者の情報収集

37万8千円

市の行政課題解決に期待できるスタートアップ事業者の情報収集を行い、将来的に市内への企業誘致に繋げるため、「STATION Ai」に参画する。

○(臨)スマートインターチェンジ事業化に向けた詳細検討

2024・2025年度債務負担行為 限度額：9,550万7千円

国から「準備段階調査着手箇所」の選定を受け、スマートインターチェンジ事業化に必要な路線測量、地質調査、道路予備設計などを行う。

○財政調整基金積立金

15億円

今後の財政需要に備えた積立て

## ■ 12月議会に提案されている議案 (一部紹介)

◇議案第82号 一宮市議会議員の議員報酬及び費用弁償などに関する条例の一部改正について 適用期日 2024年12月1日及び2025年4月1日

市議会議員に係る期末手当の支給率を人事院勧告に準じて引き上げるため

◇議案第83号 特別職員の給与に関する条例の一部改正について

特別職員に係る期末手当の支給率を人事院勧告に準じて引き上げるため

適用期日 2024年12月1日及び2025年4月1日

◇議案第84号 一宮市職員の給与に関する条例及び一般職の任期付き職員の採用などに関する条例の一部改正について

職員の急所を人事院勧告に準じて改正するため

◇議案第88号 一宮市保育所条例の一部改正について

一宮市浅井中保育園の入所児童及び入所希望児童が減少したこと並びに一宮市光明寺保育園及び一宮市立里小牧保育園を民間移管することに伴い、これらの園を廃止するため 施行期日：2025年7月1日及び2027年4月1日

# 経済教育委員会 決算審査の報告 彦坂和子

2023年度の決算認定について、各常任委員会で審議が行われました。11/15 経済教育委員会で質問・要望した内容の一部を紹介します。

## ●いちのみや気候変動対策アクションプラン 2030 の改定

2050年温室効果ガス排出量実質ゼロに向けた新たな削減目標を定めるため改定。新たな削減目標は2030年度までに2013年度比で47%削減するもの・冊子は本編、概要版各200部配布、WEBなどで市民などへ周知。

\*地球温暖化の進行、猛暑、集中豪雨の発生している。世界的に二酸化炭素など温室効果ガスの排出目標を決め、2030年度までの対策が必要とされている。一宮市においても、市民、事業者、各団体などに呼びかけ、気候危機を止める取り組みをすすめてほしい。



## ●環境保全費 苦情相談件数 件数の多い種類のみ掲載

種類	件数 (件)	種類	件数 (件)
大気汚染	54	その他	185
騒音	75	うち 雑草	155
悪臭	60	計	410



【問】対応は。 【答】基準値を超えた場合は指導します。雑草については土地所有者に文書による指導をしています。

## ●学校給食費保護者負担軽減補助事業 171,148,871 円

学校給食会への補助を通じ給食費改定による保護者の経済的負担の軽減を図るもの。

	区分	給食費/1食	補助金額/1食	金額
小学校	1・2学期	250円→285円	35円	93,597,225円
	3学期		15円	13,643,219円
中学校	1・2学期	285円→325円	40円	55,440,120円
	3学期		20円	8,468,307円
合計				171,148,871円

【問】23年度はコロナ交付金活用し食材費高騰分の一部補助。24年度は市予算で一部補助。物価高騰が続く中、保護者の経済的負担の軽減のため、25年度も補助してほしい。

ぜひ検討してほしい。

【答】国の動向を注視して検討していきたいと考えます。



## ●少人数指導等非常勤講師配置事業 58,402,615 円

児童数の多い学級に非常勤講師を配置し、きめ細かな指導（少人数指導など）を行う、不登校対策としての教員を配置する小学校と教科等の指導的立場な教員を配置する小学校に、その教員に代わって授業を行う非常勤講師（62人）を配置するもの。



【問】何よりも少人数学級進めてほしい。国、県の動向は。

【答】国は、2025年度中学1年まで35人、県は中学2年まで35人学級になります。

## ●要保護児童等就学援助事業

- ・修学旅行費、学用品費等、給食費、新入学学用品費、PTA会費、クラブ活動費（中学のみ）が支給される。
- ・対象 要保護世帯は生活保護の利用が必要、準要保護世帯は市町村が定めるもの（一宮市は市民税非課税、児童扶養手当受給等）に支給されるもの。申請数は1,787人

【問】支給の基準、制度利用者の割合は。

【答】生活保護基準額の1.2倍、児童の9%です。

\*就学援助制度とは 憲法 26 条「義務教育は無償の原則」に基づくもの。学校教育法 19 条「経済的理由によって、就学困難と認められる児童・生徒の保護者に対しては、市町村は必要な援助をしなければならない」とされている。援助の基準、申請方法等の改善をしてほしい。



## ●学校保健事業

- ・学校医（内科医 81 人）のうち産業医として 11 人委嘱している。
- ・産業医は教職員 50 人以上の学校に配置、報酬は年額 48 万円（月額 4 万円×12 カ月） 教職員数 約 1,700 人
- ・産業医は産業医学の専門家として教職員の健康管理等を行う医師。職場の巡視、職場の衛生委員会（校長先生等参加）で教職員の健康保持増進のための対策など審議。



【問】ストレスチェック（労働者の心理的な負担の程度を把握する検査）の実施が義務付けられている。実施内容、対象者、結果は

【答】年1実施している、対象者は非常勤講師等含め 2000 人余で6割が検査を受けており、高ストレスと診断されているのは約 200 人。在校時間短縮などに取り組んでいます。

\*教職員が心身共に健康で働き、教育活動に専念できる環境づくり、少人数学級の推進などすすめてほしいと思います。